

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回3月の「てがたん」は3月9日(土)で「春をさがそう」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは3月2日(土)です。よろしくお願いいたします。

## 2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→フジ棚→手賀沼遊歩道→ケヤキ広場
- 観察日時/天気 2013年2月9日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 14名(一般10人、子ども4人)
- 市民スタッフ 10名(伊東茂子、岡廣志、蒲田知子、窪田憲史、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、松村定雄、水上香苗、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3名(塩田いづみ、染谷実紀、村松和行)

## 観察記録 — 2月てがたんで観察した生き物リスト—

### 【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/クイナ科：バン、オオバン/  
シギ科：タシギ/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/タカ科：ノスリ/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/ハヤブサ科：チョウゲンボウ/  
モズ科：モズ/カラス科：カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/エナガ科：エナガ/  
メジロ科：メジロ/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：アカハラ、ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/ホオジロ科：ホオジロ、  
アオジ、カシラダカ/外来種や家禽：ドバト

### 【昆虫・クモ】

甲虫の仲間：コガタリハムシ/チョウ・ガの仲間：イラガのまゆ、オオミノガのミノ/カメムシの仲間：ヨコヅナサシガメ

### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ/  
アブラナ科：タネツケバナ/ツバキ科：サザンカ(植栽)

### 【実】

センリョウ科：センリョウ

# 2月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「樹木ウォッチング」でした。てがたんコースにある木々の樹皮や葉脈、樹形を中心に観察しました。

鳥類では休耕田で餌を探すタシギや手賀沼上空で追いかけ合いをするノスリとユリカモメなどを観察しました。



今月の案内人 伊東茂子さん、竹本周平さん



膨らんできたコブシの冬芽



鳥博裏の桜「オカメ」の花芽



エゴノキの樹形を観察



キンモクセイについたオオミノガのミノ



カラスエンドウの根粒（窒素同化をする根粒菌がいる）



### ヤツデの葉の重なり

香取神社のヤツデの葉をみると日光が当たるようにお互いが重なり合わないよう伸びている。

9



### 2月てがたんの観察生物とルート



### イチヨウの葉脈観察

イチヨウの葉脈を拡大するとところどころで葉脈どうしがつながっている部分がある

6



ヨシの中からホオジロの声がたくさん聞こえていた



休耕田で3羽のタシギが餌を探していた



春の訪れを感じさせるタネツケバナの花



シュロの樹形をみると、葉は成長点がある樹冠から伸びている



二ホンミツバチの巣穴近くで見つけたコガタスズメバチの死体（ミツバチと戦った？）

## 今月の鳥 コゲラ (キツキ目キツキ科)

日本に生息するキツキの中で最も小さく、公園や住宅地で1年を通して見られ、日本を含むアジアの極東地域に分布しています。

英名はJapanese pygmy wood pecker(日本の小さなキツキ)。学名*Dendrocopos kizuki*の種小名であるkizukiは、コゲラが種として記載された時の標本(タイプ標本)が大分県杵築で採集された個体であったことに由来しています。



オスは頭部に赤い羽がある



ノミのような嘴で枝をつつくコゲラ

写真:鳥博友の会デジカメ同好会 吉田隆行さん



丈夫な足指と尾羽をつかい、三点で体を支える